



自律(J) 創造(S) 尊重(S) 挑戦(T)

学校だより

浜の宮中学校は尾上町のコミュニティ・スクール



No. 11 2025.2.10

校長室から

冬来たりなば春遠からじ

If Winter comes, can Spring be far behind?

いよいよ3年生にとっては正念場となる時期がやってきました。2月から3月にかけて多くの人が「受験」という、これまで経験したことのない大きな壁に挑むこととなります。受験する学校によっては面接試験を行うところもあるため、1月中旬から繰り返し面接練習を行ってきました。普段使い慣れていない敬語や入退室の一連の所作、そして何よりも聞かれた質問に対して的確かつ簡潔に答える練習は、生徒にとって緊張の連続であったと思います。どうかこの経験がよい結果に繋がることを祈るばかりです。



さて、表題の「ふゆきたりなばはるとおからじ」という言葉は、19世紀のイギリスの詩人シェリーの詩「西風の賦(ふ)」から引用した一節で、冬の終わりに春の到来を期待する思いが、のちに日本でことわざとして定着しました。今は勉強をいくらやっても不安ばかりが先に立つという辛い時期だと思いますが、この冬(辛い時期)を乗り越えれば必ず春(幸せな時期)が訪れるといったことのととえで、そこには明るい未来への希望が感じられます。長い人生の中には、幾度となく乗り越えなければならない試練が訪れると思いますが、この言葉をお守りがわりに持つことで、少し前向きになれるのではないのでしょうか。

最後まであきらめず最善を尽くしてがんばれ！！

1・2年生のみなさんへ

～「アリとキリギリス」のアリに学ぶ～



3年生の先輩方の高校入試が本格的に始まりました。1・2年生のみなさんにとっては決して他人ごとではなく、1年後、2年後に必ずその日はやってきます。それは、みなさんが人生で初めて「自分の進路を自分で決定する」日でもあるのです。まだまだ先のこと？いいえ、先輩方は3年生になっていきなり進路を考え始めたわけではありません。中学校に入学してから、様々な学習を通して、その都度将来になりたい自分を想像し、夢の実現にむけていろいろな道を模索してきたことと思います。

1・2年生のみなさんは、進級するこの時期に今一度、生活を見直してみませんか？イソップ物語では、「アリとキリギリス」という有名なお話があります。夏の間、こつこつと働

き続けたアリと、遊び続けて何の備えもしなかったキリギリス。この物語の教訓はみなさんの学校生活にもあてはまるかもしれませんね。